

2014年度

E 世界史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はⅠ～Ⅲとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

 (3と解答する場合)

I. 次の文を読み、文中の下線部 1)～24) にそれぞれ対応する下記の設問 1～24 に答えよ。
解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

チェスの歴史は奥深い。世界各地で駒や盤、古文書が発見されるたびに、新たな事実が解明されてきており、チェス史の確立を目指した研究が続けられている。

チェスの発祥の地はインドといわれている。その後、中東地域にチェスは伝わる。6世紀から7世紀頃、インドの¹⁾カナウジの王が²⁾ササン朝³⁾ペルシアの宮廷にチェスを送ったことや、チェスに関する文献が⁴⁾つくられたことが記録に残っている。

7世紀から8世紀にかけてイスラーム世界は拡大する。⁵⁾ウマイヤ朝⁶⁾の時代には、東方ではソグディアナとインド西部まで、⁷⁾西方では北アフリカから⁸⁾イベリア半島にも進出するなど広大な領域を支配した。この拡大に伴い、チェスもイスラーム教徒の居住地や交易路を経て、やがてヨーロッパに至る広大な地域で遊ばれるようになった。例えば、⁹⁾現在カイロ国立博物館に所蔵されている山水晶製の駒は、10世紀にシリアで製作されたものと推定されている。この駒は、チェスの普及とともに原産地から移動したものと考えられている。

チェスは、遅くとも8世紀から9世紀にカスピ海からヴォルガ川に沿った¹⁰⁾交通路によってロシアにも伝わった。¹¹⁾ミンスクなどの多くの都市の遺跡からチェスの駒が発掘され、¹²⁾キエフのウクライナ国立歴史博物館などに所蔵されている。

¹³⁾中東地域でのルールを長期にわたり踏襲してきたヨーロッパのチェスは、16世紀前半に独自のルールの確立に踏み出す。中央ヨーロッパでは中東地域のルールが続く一方、チェスの先進地域とされた¹⁴⁾イタリア、¹⁵⁾スペイン、フランスで新しいルールが採用され、普及が進んでいった。このような先進地域のチェスの普及を支えたのは、多くの優れたプレイヤーであり、彼らを支えたパトロンであった。例えば、フランスのルイ13世は秀でたチェスのプレイヤーを育てた。その後、チェスはヨーロッパのみならず、¹⁶⁾ヨーロッパの植民地や¹⁷⁾アメリカ合衆国にも広がっていった。

¹⁸⁾インド発祥のチェスは東方へも伝わった。東方への伝達ルートは大きく分けて2つと考えられている。1つは北インドから中央アジアへ、¹⁹⁾シルクロードを経て中国へ達したルートであり、もう1つは北インドから²⁰⁾ガンジス川河口地帯へ、そこから東南アジア、²¹⁾中国沿岸の貿易港を経て日本に達したルートである。中国の象棋や日本の将棋とチェスのルールは異なるが、源流がインドにあることは共通している。

そうして、チェスの国際的なルールは1929年に²²⁾国際チェス連盟 (F I D E) が統一ルールを制定したことによって定まり、現在に至っている。世界チャンピオンとコンピュータとの“試合”が話題を呼んだり、²³⁾国際オリンピック委員会 (I O C) が²⁴⁾オリンピックでの

実施を想定する「承認国際競技団体」にF I D Eが認定されているなど、チェスは現代においても隆盛をみている。

1. インドでもっとも古い文明は、インダス文明といわれる。その代表的な遺跡であるモエンジョ＝ダーロの意味を日本語でしるせ。
2. カナウジを都とした王朝名をしるせ。
3. ササン朝がアラブ軍に敗れ、その崩壊の契機となった、イラン西部での戦いの名をしるせ。
4. ウマイヤ朝を661年に開いた初代カリフの名をしるせ。
5. 2つの川にはさまれたソグディアナは、古くから東西交易の要地として争奪が繰り広げられた。1つは天山山脈から発するシル川だが、もう1つの川の名をしるせ。
6. 北アフリカのフェニキア人植民市カルタゴは、ローマ軍と何度も戦った。紀元前202年にカルタゴ軍がローマ軍に大敗したカルタゴ南西の地名をしるせ。
7. イベリア半島は、8世紀半ば以降の後ウマイヤ朝を経て、12世紀中頃まではムラービト朝、ムワッヒド朝というイスラーム王朝の支配を受けた。この2つの王朝がともに都とした都市の名をしるせ。
8. イスラーム社会では、9世紀頃までにコーランやハディースの解釈にもとづき、イスラーム法が体系づけられた。これを何と呼ぶか、その名をしるせ。
9. 1943年11月のカイロ会談に首脳として参加した人物の名を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. アイゼンハウアー
 - b. スターリン
 - c. チャーチル
 - d. トルーマン
10. カスピ海沿岸をも支配したモンゴル帝国は初期から交通路の安全性を重視し、その整備や治安の確保に務め、駅伝制を施行した。駅伝制で用いられた通行証の名をしるせ。
11. 1918年3月3日、ロシアのソヴィエト政権はドイツと単独で講和を結び、第一次世界大戦から離脱した。この講和条約の名を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. ケロッグ＝ブリアン
 - b. サン＝ジェルマン
 - c. トリアノン
 - d. プレスト＝リトフスク
12. ミンスクはベラルーシの首都である。1991年、ソ連崩壊につながる11の共和国からなる共同体が結成されたが、ここにはその本部が置かれている。この共同体の名をしるせ。

13. キエフを首都としたキエフ公国は9世紀から13世紀まで隆盛を誇ったが、モンゴルの軍勢によって滅ぼされた。このモンゴルの軍をひきいた司令官の名を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アリクブケ b. オゴタイ=ハン c. トウルイ d. バトゥ
14. 15世紀末から16世紀まで続いたイタリア戦争によって、イタリア=ルネサンスは急速に凋落する。1559年に結ばれたイタリア戦争の講和条約の名をしるせ。
15. フランス絶対王政の最盛期は「太陽王」といわれたルイ14世の時代といわれる。ルイ14世の孫でスペイン=ブルボン朝の祖となった人物の名を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. カルロス2世 b. ジョアン2世
c. フェリペ5世 d. フェルナンド5世
16. ルイ13世の宰相の名を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. ケネー b. コルベール c. ティエール d. リシュリユー
17. ヨーロッパ諸国が植民地化したアフリカにおいて、第二次世界大戦後、独立の機運が高まっていった。これらに関する出来事a～dのうち、もっとも古いものを解答欄のiに、次に古いものをiiに、以下同じようにivまで年代順にマークせよ。
- a. アジア・アフリカ29カ国の代表が集まり、バンドン会議を開催した
b. アフリカ諸国30カ国が参加して、アフリカ統一機構を結成した
c. 一挙に17もの新興独立国が生まれ「アフリカの年」と呼称された
d. ガーナがイギリス連邦内の自治領として独立を達成した
18. アメリカ合衆国でもチェスは普及していったが、その駒には、南北戦争を模して南軍・北軍に分けたものもあった。南北戦争後から19世紀末までのアメリカに関する記述として正しくないものを、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 一部の白人はKKKなどの秘密結社を組織した
b. 最初の大陸横断鉄道が完成した
c. 奴隷の身分から解放された黒人の多くはシェアクロッパーとして苦しい生活を送った
d. 南部を共和党が堅固な地盤とした
19. シルクロードは東西世界の交流に寄与した。イラン系のソグド商人はソグド文字とともに、新たな宗教も東方に伝えた。3世紀に創始され、ゾロアスター教にキリスト教などの要素を融合した、この宗教の名をしるせ。

20. ガンジス川の流域では、1947年インド独立法によってインド連邦とパキスタンの2国が分かれて独立した。これは、1940年にイスラーム国家パキスタンの設立を全インド＝ムスリム連盟が大会で決議したことに遡るが、その指導者の名をしるせ。
21. これらについて、次の問 i・ii に答えよ。
- i. 明代にもこれらの貿易港は栄え、明は日本とも交易を行った。冊封体制のもとで行われ、日明貿易ともいわれた、この交易の名をしるせ。
- ii. その1つである寧波は、1851年からの太平天国の乱で「太平軍」に支配された。この太平軍を破った郷勇の代表的な存在で、湘軍を率いた人物の名を、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. ウォード b. ゴードン c. 曾國藩 d. 李鴻章
22. F I D E は1924年にパリで設立された。この年、フランスでは総選挙により左派連合政権が誕生、国際協調の機運が広がった。1925年にフランスをはじめ7カ国が調印した、西ヨーロッパの安全保障を決めた条約の名をしるせ。
23. I O C を組織したフランス人教育者の名をしるせ。
24. 近代オリンピックは古代オリンピアの祭典を1つの理想としている。前776年からオリンピアで行われた祭典は、古代ギリシア人に民族意識をもたせた。彼ら古代ギリシア人は自らをヘレネスと呼んだが、異民族を「聞き苦しい言葉を話すもの」と呼んだ。この呼び名をしるせ。

Ⅱ. 次の文を読み、下記の設問 A・B に答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

人間が外の世界へとむかう時、地理的な認識が大きく関わる。地表の特徴を平面に表した地図には、それぞれの時代の世界観が反映されている。古代バビロニアの世界地図では、大地は平らな円盤として考えられ、その周りには、架空の海洋と天空をささえる島が広がっていた。古代ギリシアでは、天文学や幾何学の発達にともない、大地は平らではなく、球体である¹⁾と考えられはじめた。紀元前3世紀後半～前2世紀初め、エラトステネスは地球が球形であることを前提に、その円周の長さを計算したといわれている。また2世紀のアレクサンドリアで活躍した天文学者（イ）は、地球中心の天動説を唱え、著作に世界地図も掲載した。等間隔に経緯線が引かれたこの地図の原本は失われたが、地中海の周辺についておおむね正確であったとされており、ルネサンス期の世界地図にも大きな影響を与えた。

キリスト教的世界観が浸透した中世ヨーロッパでは、エデンの園を最上部に配するなど、世界地図の精度は後退する傾向にあり、地理的正確さよりも、世界をキリスト教的に解釈する目的が反映されている。一方、古代の地理学の伝統をうけつ²⁾いだイスラーム世界では、実際の見聞にもとづいて詳しい世界地図の作製がこころみられた。12世紀の地理学者イドリーシーは、シチリアの宮廷に招かれ、当時の知見を集大成した地図を作製したことが伝えられている。³⁾その他にも（ロ）は、メッカ巡礼にはじまる大旅行の記録を、通称『旅行記』（『三大陸周遊記』）として14世紀に残した。

ルネサンス期のヨーロッパ各地では、（イ）の古代地図の系統に属するものが数多く出版される一方、この地図に新風を吹き込んだのはポルトガルである。大海原へ進出をはじめたポルトガルは、イスラームの先進文化を吸収しつつ、より正確な地図を作りあげていった。ポルトガルに少し遅れて、スペインでは、16世紀にフェリペ2世の治世下で絶対⁴⁾王政の最盛期を築いた。当時、新たな世界への海外進出は、富への欲望とキリスト教⁵⁾布教のための情熱に支えられていた。その成果は、16世紀末から17世紀初め、中国に滞在したイエズス会宣教師マテオ＝リッチが、ヨーロッパの知識を用いて作製した、漢訳版世界地図『（ハ）』にも見てとれる。⁶⁾

人間をとりまく世界への科学的関心は、さらに空の彼方へも広がった。望遠鏡による天体観測が可能となり、天文学が飛躍的に進むと、惑星運行に関するケプラーの法則やラプラスの宇宙進化論など、宇宙に関する研究はさらに深化していった。こうして20世紀、アメリカの宇宙船（ニ）が人類初の月面着陸に成功するなど、ついに人間は宇宙への一步を踏み出したのである。

- A. 文中の空所(イ)～(ニ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。
- B. 文中の下線部1)～6)にそれぞれ対応する次の問1～6に答えよ。
1. ここでは、人々は集住して都市国家を建設した。その中にあって、非常時には市民の砦となり、時に都市の守護神がまつられた小高い丘をギリシア語で何と呼ぶか、その名をしるせ。
 2. このような聖書の解釈にもとづき天動説を唱えた教会の世界観に対して、16世紀前半に『天球回転論』を著したポーランドの聖職者・天文学者は誰か、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
a. エラスムス b. ガリレイ c. コペルニクス d. ブルーノ
 3. この宮廷が繁栄したパレルモで育ち、交渉により聖地イェルサレムを回復した、シチリア王にしてシュタウフェン朝の神聖ローマ皇帝は誰か、その名をしるせ。
 4. この時期に関する次の問i・iiに答えよ。
 - i. 芸術家ミケランジェロが天井画と壁画を描き、2013年には新教皇の選挙会場として注目を集めた、ヴァチカン宮殿内の礼拝堂を何と呼ぶか、その名をしるせ。
 - ii. フランスのラブレーの著作は何か、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
a. ガルガンチュアとパンタグリユエルの物語
b. カンタベリ物語
c. デカメロン
d. ローランの歌
 5. この時期に関する次の問i・iiに答えよ。
 - i. スペインで、優れた肖像画や宗教画を描き、16世紀末から17世紀初頭に活躍したギリシア出身の画家は誰か、その名をしるせ。
 - ii. この後、スペインが国力を衰退させるきっかけとなる1588年の戦いで、スペインを破ったのはどこの国か、その名をしるせ。
 6. 当時の活動の担い手としてトレント（トリエント）公会議を主催し、イエズス会設立を認可した教皇は誰か、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
a. グレゴリウス1世 b. クレメンス5世
c. パウルス3世 d. レオ10世

Ⅲ. 次の文を読み、文中の下線部 1)～11)にそれぞれ対応する下記の設問 1～11に答えよ。
解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

金属器は文明の発展に大きく貢献してきた。オリエント世界では、都市が生まれてきた頃、青銅が使用され、武器や容器に用いられるようになった。

紀元前3500年頃から、メソポタミアでは大きな村落が成立し、青銅器や銅器などの金属器が普及した。前2700年頃までには、シュメール人の都市国家が多数形成された。その後もこの地域では様々な王国が興亡した。¹⁾

一方、中国では、河南省安陽市における発掘によって、青銅を武器や祭器、また調理容器として用いていたことがわかっている。戦国時代になると、鉄製の農具が使われるようになり、家族単位の農業経営が可能となった。さらに商業面では青銅貨幣が使われるようになり、経済都市が発展した。やがて秦の時代になると、始皇帝が銅銭で貨幣の統一を行った。²⁾³⁾⁴⁾⁵⁾

前17世紀頃、ヒッタイトは小アジアを本拠地として建国した。青銅よりも強度がある鉄は、軍事力や農業生産力を向上させられる、重要な金属だった。加えて、この頃、生産がまだ少量であったことから、鉄は高い価値を保持していた。ヒッタイトは、先住民から学んだ製鉄技術を独占して国力を強めた。⁶⁾

一方、前16世紀、エジプトでおこった新王国が、アジア系遊牧民を撃退した。前14世紀頃になると、アメンホテプ4世は、当時の都で勢力をふるう神官勢力の介入を遠ざけようと遷都し、従来の神々の崇拜を禁じ、唯一神を信仰する改革を断行した。この動きは宗教にとどまらず、芸術にも及んでいった。やがて王の死によって、この改革自体は挫折に終わるが、改革の影響を受けて生まれた写実的な美術がこの時代の遺産となった。前1286年頃、新王国はシリアでヒッタイトと戦った。⁷⁾⁸⁾⁹⁾¹⁰⁾¹¹⁾その後、新王国は、エーゲ海方面から「海の民」の来襲を受け、衰退し始めた。

やがて、鉄器を独占したヒッタイトが前12世紀に滅亡すると、製鉄技術は拡散し、オリエント世界全域が鉄器時代に入っていくのである。

1. これらの都市国家で造営された、都市の守護神をまつる煉瓦造りの塔は何と呼ばれたか、その名をしるせ。
2. これらの王国に関する出来事 a～dのうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
 - a. アッシュル＝バニパルが最大版図を築いた
 - b. アムル人がユーフラテス中流域に王朝をおこした
 - c. カッシートがザクロス山中からバビロニアに侵入した
 - d. カルデアがバビロンに都をたてた
3. この発掘では、甲骨文字が刻まれた亀甲や獣骨もみつかった。この遺跡の名をしるせ。
4. 鬲れきと並ぶ、三本足のかたちをした、魚・肉を調理するための容器の名をしるせ。
5. このとき統一された貨幣の名をしるせ。
6. この国の首都の名をしるせ。
7. この遊牧民の名をしるせ。
8. この都の名を、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. ギザ
 - b. サイス
 - c. テーベ
 - d. メンフィス
9. この改革の中で、アメンホテプ 4 世は何と名乗ったか、その名をしるせ。
10. 都の名にちなむ、この美術の名をしるせ。
11. この戦いについて、次の問 i・ii に答えよ。
 - i. ヒッタイトと戦った新王国の君主の名をしるせ。
 - ii. 戦場となった都市の名を、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. ウガリト
 - b. カデシュ
 - c. シドン
 - d. ダマスクス

【以下余白】

